

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	20-036	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名（原題／訳） Associations Between Medical Conditions and Alcohol Consumption Levels in an Adult Primary Care Population 成人初期診療患者での病状と飲酒量の関連		
執筆者 Sterling SA, Palzes VA, Lu Y, Kline-Simon AH, Parthasarathy S, Ross T, et al.		
掲載誌 JAMA Netw Open. 2020 May; 3(5): e204687. doi: 10.1001/jamanetworkopen.2020.4687		
キーワード	PMID	
慢性肝疾患、高血圧、糖尿病	32401315	
要 旨 目的： 過剰飲酒が健康状態に悪影響を及ぼすことが知られているが、初期診療患者の病状毎の飲酒量を調べた研究はあまりない。本研究では電子健康記録データを使用し、初期診療患者での病状と飲酒量の関連を検討した。 方法： この横断的研究では、2014年1月1日から2017年12月31日までに不健康な飲酒をする患者として選ばれた初期診療成人患者 2,720,231 人の 26 の病状と飲酒量の関連を多変量多項ロジスティック回帰モデルで解析した。主結果は、アルコール乱用と依存症ガイドラインに則り、非飲酒、低リスク飲酒、1 日規定飲酒量を超える飲酒、1 週間規定飲酒量を超える飲酒、日と週間の規定飲酒量を超える飲酒とした。調整因子は、世帯収入分類、肥満度指数、喫煙、入院患者かどうか、救急外来の利用とし、26 の病状は、 <i>ICD-9-CM</i> と <i>ICD-10-CM</i> 診断コードで分類した。 結果： 2,720,231 人の患者の内、1,439,361 人 (52.9%) が女性、1,308,659 人 (48.1%) が白人、883,276 人 (32.5%) が 18 から 34 歳であった。外傷または中毒を除く何らかの並存疾患のある患者は、低リスクの飲酒量（日と週間の規定飲酒量を超えない）と不健康な飲酒量（日か週間の規定飲酒量を超える）の確率が健常者と比べると低い。861,427 人の飲酒患者で、糖尿病患者 (OR, 1.11; 95% CI, 1.08-1.15)、高血圧患者 (OR, 1.11; 95% CI, 1.09-1.13)、慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者 (OR, 1.16; 95% CI, 1.10-1.22)、外傷もしくは中毒者 (OR, 1.06; 95% CI, 1.04-1.07) は、1 日規定飲酒量を超える確率が高い。同じく飲酒患者で、心房細動患者 (OR, 1.12; 95% CI, 1.06-1.18)、がん患者 (OR, 1.06; 95% CI, 1.03-1.10)、COPD 患者 (OR, 1.15; 95% CI, 1.09-1.20)、高血圧患者 (OR, 1.37; 95% CI, 1.34-1.40) は、1 週間の規定飲酒量を超える確率が高い。同じく飲酒患者で、COPD 患者 (OR, 1.15; 95% CI, 1.07-1.23)、慢性肝疾患患者 (OR, 1.42; 95% CI, 1.32-1.53)、高血圧患者 (OR, 1.48; 95% CI, 1.44-1.52) は 1 日・1 週間規定飲酒量を共に超える確率が高い。 結論： ある特定の疾患を伴う患者は飲酒量が多い可能性があり、医療体制と医療従事者は不健康な飲酒をする患者への援助と健康リスク軽減方法を検討する必要があることが示唆される。		